







打 合 せ 議 事 録

件名	泉・五家荘登山道整備プロジェクト事業報告会						
場所	五家荘自然塾	打合年月日	23年12月17日 18:00~				
議題	1 ; 代表挨拶 2 ; 来賓挨拶 3 ; 事業報告 4 ; 課題の確認と今後の展開について 5 ; 交流会	出席者	代表: 緒方勢一 書記会計: 炭尚之 泉農林水産事務所: 寺川博文 黒木計・炭道生・左座春喜・緒方さよ子 炭久美子・辻本詩緒里 長濱信幸・林田正道・林田勝子・村田 稔 野間口徹郎				
打合せ内容及び処理							
1 2 3 4 5	<p>プロジェクト代表 緒方氏 挨拶 泉農林水産事務所 寺川氏 挨拶 経過報告 書記会計 炭より ・今期の活動として8月2日に行われた烏帽子岳・国見岳コース整備を実施。当初、7月19日の予定が台風接近の為、延期になったにも関わらず県内外24名もの参加者があったことや、その他では泉・五家荘ガイドインストラクター協会と整備プロジェクトで研修を兼ねた山犬切ヘトリカブト調査などを報告した。 ・日本山岳遺産認定のお知らせ。 公募型の基金の支援活動。8箇所申請中今回2箇所が認定。五家荘は日本で6番目、九州初認定である。日本山岳遺産基金より活動助成金として49万円も内定している事を報告。 林田様より 山岳遺産は全国の中でも豊かな自然が残っていることと、その地域の人達の努力が選定のポイントである。今回、山と渓谷社から是非五家荘を山岳遺産にとの話があった。申請に当たっては市長など行政の支援もあり今後の団体の活動に信用性が出たことや、環境・活動共に全国的な山岳遺産のモデルにぴったりだった。また、認定を受けたことで少しでも地域の活性化に繋げてほしいとの話があった。</p> <p>4 課題の確認と今後の展開について 山頂標識の設置へ 私的なプレートの設置も多く、改めて管内32座全てには必要無いものとし、山名が変更の箇所と現在未設置の箇所に今回の基金で新しい標識を設置することで合意。 設置予定 24箇所 (平家山・後平家山・夫婦山・南平家山・五家宮岳・ウードヤ山・小国見岳・五勇山・南山犬切・前福根山・中福根山・下福根山・茶白山・岩宇土山・石楠山・鷹の巣山・蕨野山・岩茸山・積岩山・奥座向・保口岳・普賢峰・大金峰・小金峰)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>標識デザインについて 分りやすく、軽くて運びやすい物に。 設置中の(左写真)物(素材)で決定。 設置スケジュールは協議の上行う。 マーキングについて 迷いやすいと思われる所に設置。 目印・方向共に分りやすい(右写真)の物 (L字のステンチル杭にテプラ表示)で検討。 足りないところは当面はテープで補う。</p> </div> <div style="width: 45%;">   </div> </div> <p>来期の登山道整備は、現在遭難が多発している烏帽子岳 登山口を優先して行うものとして、その他は 保口岳と普賢峰間の鈴竹刈り 保口岳ゲート間での誘導サイン が挙げられた。 作業道での登山道破壊については今後、行政からの指導を行う。 仕様書に登山道の保護を条件、また作業区間に登山道の有無を確認するなど追記出来ないか検討含む。 その他 ・登山地図販売施設は地図の存在を示すため貼り出して欲しい。 価格の設定を見直し地図販売を山岳ショップに委託してはどうか。 ・林田さん夫妻制作の「五家荘の花」を各施設などに置き、お客様に見てもらおうような対応を…等の意見が挙げられた。</p>						
5	交流会	報告会	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
泉・五家荘登山道整備プロジェクト		発行日	承認	照査	作成	発行番号	頁数
		23年12月18日				GTP-11-02	1 / 1